

列車とトイレー中国その2ー

清水 洽

中国新幹線の情報が入りましたので前回に引き続き報告いたします。中国の新幹線は在来線と同じ軌道になるため、高速新幹線から在来線に乗り入れる運行になっているようです。一方、車両は在来線を200km/hrで走る仕様の8連×8編成で運行されております。その車両はカナダ・ボンバルディア製2編成、日本のE2系2編成、ドイツ・シーメンス製2編成、フランス・アルストーム製2編成の4種類です。これら4カ国の車両の良いところを取って中国独自の車両を作るのでしょうか。高速新幹線は北京からハルピン、大連、上海、南京、杭州で進められており、上記の200km/hr仕様の車両が新幹線区間を250km/hrで運行されています。

まずは、ダイネン(株)の早原寛二様から送られた新幹線和諧号の写真です。



写真ー1 南北京ー天津ー塘沽間の和諧号一等車両内とビュッフェ



写真ー2 和諧号の水洗トイレと手洗い。日本製の車両の様です。

次は NPO 21 世紀水倶楽部佐藤和明様から送られた、北京—ハルピン間の新幹線和諧号の乗車時写真です。



写真一 3 和諧号 2 編成連結 1 6 両編成の列車



写真一 4 和諧号の便器です



写真一 5 北京—ハルピン間の列車トイレ室内の手洗いと水洗押しボタン



便器がインドの車両の便器（NPO21 世紀水倶楽部望月倫也様の情報）と同じようなのでフランス製の車両かな？

参考文献

- 1) 佐藤芳彦「世界の高速鉄道—中国・インド・ベトナム—」鉄道ファン 2008.7 月号
Vol.48.NO.567